

(6) 倫理委員会

実施日	内 容	参加者
4月9日	年間活動予定（年2回のチェックシートの実施・園内研修会について）	6名
5月12日	虐待防止に係るチェックシート（1回目）の実施方法について	5名
6月9日	「虐待防止、虐待対応時マニュアル」の読み合わせ、チェックシートの全職員の実施について	7名
7月1日～ 7月15日	虐待防止に係るチェックシートの実施	53名
8月19日	虐待防止に係るチェックシートのまとめについて	5名
12月8日	外部講師を招いての園内研修について「障害者虐待防止法」虐待防止に係るチェックシート（2回目）の実施について 日々の生活を通しての疑問点等	6名
1月7日	「虐待防止、虐待対応時マニュアル」の読み合わせ、チェックシート実施について	
1月10日～ 1月25日	「虐待防止、虐待対応時マニュアル」の読み合わせ 虐待防止に係るチェックシートの実施	53名
2月15日	テーマ「障害者虐待防止について」外部講師による園内講演	48名
2月20日	虐待防止に係るチェックシートの集計報告と話し合い	

☆虐待防止対策委員会

6月19日	利用者に対する虐待事例報告があり、委員会を開催する。	6名
-------	----------------------------	----

(7) 広報委員会

発行日	平成27年度年の広報誌	担当者
4月 1日	大洲育成園だより「つばさ」春号《第251号》	5名
7月 1日	大洲育成園だより「つばさ」夏号《第252号》	
10月 1日	大洲育成園だより「つばさ」秋号《第253号》	
1月 1日	大洲育成園だより「つばさ」冬号《第254号》	
4月 1日(予定)	大洲育成園だより「つばさ」春号《第255号》編集中心	

(8) 地域活動委員会

実施日	平成27年度年の広報誌	担当者
4月 13日	桃太郎工房夏祭りとイルミネーションの企画について (企画に対し、各々会議を持ち計画する。)	10名

(9) 安全衛生委員会

実施日	内 容	担当者
4月13日	新任職員研修について・危険個所の法定点検・消防計画について 地震、津波による避難訓練・連絡網・現在使用のPHSの使用について等	4名
5月11日	施設内安全点検・地震、津波による避難訓練・原子力災害避難計画規定等について	3名
6月9日	原子力災害避難訓練・四国地区防災訓練・安全点検・AED講習会を兼ねた通報、消火訓練・エアコン設置工事・非常食の入れ替え等について	4名
7月8日	地震、津波による避難訓練の反省・防災教育、通報、消火訓練、救急法の講習・消防署による立ち入り検査・原子力災害発生時の避難受け入れ先の見学等について	3名
7月16日	おおずシェイクアウト訓練・地震4度以上時の職員招集・非常招集の一斉メール等について	5名
9月14日	パヨク防災による防災設備の法定点検・おおずシェイクアウト訓練の反省・危険物法定講習・非常招集連絡網等について	3名
11月16日	連絡訓練・火災通報設備の改修・伊方原発に係る訓練の反省・安全運転管理者講習会等について	3名
12月2日	シェイクアウトえひめ・救助訓練・連絡訓練の反省・ストレッチャーの設置場所等について	4名
1月12日	避難訓練・大洲育成園避難計画等について	3名
2月8日	夜間想定避難訓練・業者による浴槽配管掃除、水質点検、浄化槽点検・厨房裏の防音壁修繕・就労棟のスプリンクラー設置・居室の蛍光灯について等	4名
3月11日	パヨク防災による防災設備の法定点検・スプリンクラー設置・27年度の事業計画の反省・28年度事業計画の策定等について	3名

(10) 保健給食委員会

実施日	内 容	担当者	
4月15日	・感染症・AED講習会について ・投薬について ・通院時の携帯物について ・車いす、歩行器の定期点検について	・食堂のテーブルについて ・浴室の足ふきマットについて ・お誕生会のお菓子について ・毎日の掃除チェック表について ・フロアの救急セットについて	8名
5月18日	・先月の話し合いの再確認について ・体重の増減について	・通院報告書の記入について ・下駄箱・靴の名前について	9名
6月15日	・与薬マニュアルについて ・通院時の利用者の服装について	・空調について	7名
9月30日	・園内研修会について ・脱衣所の敷物について		6名
10月23日	・感染症対策園内研修会について ・社会福祉施設感染症対策研修会課題アンケートについて	・看護師不在時のけがの処置について	6名
11月20日	・感染症対策研修会のアンケート内容結果について	・手洗いの実施状況について	5名
12月11日	・汚染された洗濯物の消毒について ・手洗いの実技について	・給食について ・利用者さんの病気の理解について	7名
3月11日	・朝の健康状態把握について ・感染症予防の手洗いの実技研修について ・利用者の病気を知っての支援について ・看護師不在のけがの処置について	・脱衣所の衛生について ・通院時の服装やトイレ支援について ・靴箱の名前について ・園内研修会での実技好評にて来年度にむけて検討。	6名

☆感染症対策委員会

12月28日	・ウイルス性胃腸炎発症者あり、蔓延防止対策について	8名
1月4日	・感染症に伴う日中活動について	3名
2月4日	・インフルエンザが流行する前の改善点について	7名
2月17日	・インフルエンザ発症に伴う予防対策の確認と見直しについて	5名
2月23日	・インフルエンザ及び体調不調者への対応確認（終息にむけて）	6名

感染症対策研修会

11月12日	・社会福祉施設の感染症対策について 講義後ガウンテクニックの実技を行う	参加者 27名
--------	--	------------

生活介護（定員 75 名）

サービス管理責任者 中野利子・祖母谷洋子

日中活動班を、生活班・訓練班・おはな班（生産活動班）の 3 班としました。

定員 75 名で、5 月に 1 名と 1 月に 1 名の利用者の退所があり、5 月に 1 名の入所があり、実質利用者 68 名/日で活動を行いました。10 月と 3 月にそれぞれ 1 名ずつの計 2 名の職員の採用があり、利用者支援の充実を図りました。

生産活動で出来た製品は、愛媛県や大洲市等の行政機関や民間企業をはじめ地域の方々から草花苗や野菜・木工加工品等の注文を受けて、販売しました。施設内行事の「桃太郎工房祭り」「家族の日」「イルミネーション」「家族交流いもたき」、地域行事の「柳沢のホタルまつり」「大洲隣保館まつり」「福祉と健康づくり市民の集い」「肱北公民館ロビー展」等に参加し、販売活動を通して交流を図ることが出来ました。

年間活動で得た収益を一人当たり 5,227 円（前年 5,766 円）工賃として支給することが出来ました。

生活班

【利用者数】 17 名（男性 7 名～1/13 より 1 名退所・女性 10 名）

【支援員】 ◎富士耕一・谷山洋二・西川勝典・後藤望美・西村由美
宮岡美涼・二宮富子・猪野木正彦（9/30 まで）・上満真文（10/1 から）

【支援内容】

① 日常生活支援

- ・日課の中で検温、必要者に応じて血圧測定を行い、健康確認を行いました。定期的にトイレへの誘導を行い、排便状況を看護師に報告し、便秘者には緩下剤・坐薬などの使用を行って排便のコントロールを行いました。
- ・季節や気温に応じた服装を支援し、寝具の整えや洗濯後の衣類収納や整理、季節に応じた衣替えを行いました。
- ・健康に応じた食事内容を提供し、本人に合ったエプロン、器、スプーンを購入して自分で食事が行えるようにし、好き嫌がなく食事摂取が出来るように介助を行いました。
- ・入浴日には清潔な衣服の着用が出来るように準備を行い、洗体、洗髪の支援をし、身体に応じて特殊浴槽での入浴を行い、ゆっくりと楽しめるようにしました。

② 日中活動

- ・リズム運動やストレッチ運動を行い、機能訓練指導員により、個々の状況に応じた運動を支援し、機能低下防止に努めました。便秘症状の利用者には腹部のマッサージなどを行いました。身体状況、体調に応じて歩行器、車椅子、手すりを使用し、転倒して怪我をしないように安全な移動の支援を行いました。

- ・午前中は、2F 会議室に移動し、カラオケや輪投げ、ボーリングゲーム等を行い、活動中には音楽をかけ、リラックスして活動が楽しめるようにしました。午後は、フロアやグラウンドでの歩行運動、ストレッチ運動を中心に行い、天候が良い時は屋外での日光浴を実施し、体力、運動機能低下防止を図りました。また、食堂のテレビとカラオケに内蔵された体操プログラムを利用し、画面を見ながら楽しんで身体を動かすようにしました。

③ 園外活動

- ・利用者の要望を聞き、支援員が付き添って買い物に出かけたり、地域の行事に参加したりして、園外での活動が楽しめるように計画を立て実施しました。
- ・レクリエーションを年間に2回実施しました。2月に、新年会と慰労会を兼ねて「ホテルにし川」で会食し、カラオケを行って活動を楽しみました。3月は、園の駐車場の桜の花の下で、園で作って頂いたお弁当を食べ、お花見を楽しみました。

【利用者の状況】

健康状況、身体状況より歩行器や車椅子を使用する利用者が増えました。体力や運動機能の低下を防止するために、機能訓練やリハビリ、歩行運動などを実施しました。健康状況により、10/13から入院していた利用者1名が1/13に退園されました。情緒不安定な利用者との間で、押されて転倒し、怪我をした利用者、健康状況から1/4～1/15まで入院した利用者が1名ありました。

【総括】

利用者個人の状況に差異はありますが、活動時には音楽を聴いてリラックスして過ごせる環境作りを行いました。生活支援の中で、体調把握をし、排便コントロールを看護師と連絡を取りながら対応し、機能低下防止のために歩行運動や機能訓練をすすめ、元気で過ごす事を優先に支援しました。

訓練班

【利用者数】 21名（男性11名・女性10名）

【支援員】 ◎石間明彦・白石亮・角藤昭文・高橋系子・梶谷富美庫・西野克美
福西なぎさ・花見祐樹(3/1から)

【支援内容】

① 生活支援

- ・日課の中で検温や必要者に応じて血圧測定を行い、健康確認を行いました。トイレでの排泄習慣が得られるように、定期的にトイレへの誘導支援を行い、便秘状況の場合は水分摂取をこまめに摂るようにし、状況を看護師に報告し緩下剤等での排便コントロールを行いました。
- ・季節や気温に応じた服装や居室の清掃や寝具の整えを行い、洗濯後の衣類収納や整理、季節に応じた衣替えを行いました。

- ・健康に応じた食事内容を提供し、楽しく食事が出来るように環境を整え、必要者にはエプロンやスプーンを使って自分で食事が出来るようにしました。また、好き嫌いなく食事摂取が出来るよう支援を行いました。
- ・15:00より入浴を開始し、洗体、洗髪の支援を行い、身体状況に応じて特殊浴槽を使用し、ゆっくりと入浴が楽しめるようにしました。

② 日中活動

- ・午前中は、環境整備として食堂や食堂前廊下、利用者玄関付近の清掃を行いました。また、手拭タオルや入浴タオルのたたみを希望者で行いました。午後は、天候や季節に応じてフロアやグラウンドで歩行運動を行い、ストレッチ運動で体力や運動機能低下の防止を図りました。便秘症の利用者には、腹部マッサージ等を行い、排泄の促しを行いました。カラオケ機を利用して、テレビ体操や音楽でリラックスして活動が楽しめるようにしました。また、晴天時には日光浴を実施しました。利用者の状況に応じ、車椅子、歩行器の使用を行い転倒等で怪我をしないように安全な移動の支援を行いました。
- ・毎月、専門講師の指導の下で手足を動かす体操・ボールや布を使用した運動・発声などを楽しみながら、スマイル体操を行うことが出来ました。

③ 園外活動

- ・利用者の意向を聞き、話し合いを行って買い物や外食等、園外での活動を楽しめるよう計画を立てて実施しました。
- ・レクリエーションを年間3回実施しました。1回目は、梨狩り班と紅葉見物班の2班に分かれて行いました。2回目は、鹿野川湖畔の施設で食事や買い物を楽しみました。3回目は、園駐車場で見ごろを迎えた桜の花見を行いました。年間を通して、季節を感じられる楽しい活動が行えました。

【利用者の状況】

高齢化し、身体機能低下や足元が不安定となり、ヘッドギアや車椅子・歩行器を使用する利用者が増えてきています。3名の利用者に認知症状が見られています。

【総括】

午前の環境整備、タオルたたみでは、各自の役割意識が伺えました。今後は、それぞれの利用者の状況に応じた活動内容を進めていきたいと思えます。

おはな班

【利用者数】 30名 男性17名 女性13名

【支援員】 ◎山本隆二・岩津哲也・菊池潤一・松丸弘史・水本百合子
松本直美・天野 愛・大野トモエ・猪野木正彦(10月から)

【支援内容】

利用者の状況に応じて3班に分かれて活動支援を行いました。

- ① 農業活動～玉ネギ、ジャガイモ、サツマイモを栽培し植え付けから施肥、除草、収穫、販売準備等を支援しました。
木工活動～ベンチ各種、本棚等の注文を受け主にペーパー掛けや組み立て等の支援を行いました。
- ② 園芸活動～花苗（マリーゴールド、日々草、ベゴニア、コリウス、パンジー、ビオラ）の生産に向けて、播種、土作り、ポット取り、施肥、水やりなどの管理を手順に沿って支援しました。また、花壇の手入れや除草など草花栽培が楽しめるよう支援し、冬場は屋内での活動を増やし、屋内でポット拭きやストレッチ、軽運動をして運動不足の解消に努め、園内清掃も取り組みました。
- ③ 機能訓練活動～年間を通してリズム体操や身体をほぐすストレッチ、手足のマッサージ、ボール運動など個別に作成した機能訓練メニューに沿って、支援を行いました。午後は主に歩行運動、創作活動（壁面アート、塗り絵、牛乳パックハガキ作り等）、レクリエーション（風船バレー、サッカー、ボーリング等）やミュージックケアを行い、毎月 1 回は外部講師を招いての「スマイル体操」実施して手足の運動、口腔体操などの支援を行いました。
- ④ 年 3 回のレクリエーションは、利用者の希望を事前に聞いて話し合いを持ち計画に基づいて実施し、リフレッシュすることができました。
 - ・ 10 月～「幸野梨園」へ梨狩り
 - ・ 1 月～「カラオケクラブミスト」で新年会
 - ・ 3 月～「エミフル松前」での映画鑑賞や食事・買い物等

【利用者の状況】

健康管理には十分注意をし、各自の能力に応じて無理のない活動を行い、活動場所への移動支援や感染症予防にも気を付けて手洗いやうがい等の支援を行いました。

11 月に体調を崩して入院した方が 1 名ありましたが、現在は元気に過ごされています。また、利用者が活動中に、隣の畑で栽培されていた作物を引き抜き、ご迷惑をかけてしまい、園外での支援の在り方等の見直しを行い対応しました。

【地域交流】

南予地方局、大洲市役所、地域行事販売、園内行事販売等を行いました。また、地域の方々と販売等を通じて交流を深め、活動意欲が高まりました。

【生産活動の収支額】

収入 694,612円（花苗・野菜・木工品 H26 預り金等）

支出 333,920円（材料費・事務費等）

【総括】

事業計画に沿って活動を行いました。利用者の高齢化から今まで出来ていたことが難しくなっている状況もあり、今後は利用者のニーズに合った活動内容や支援内容の見直しを行う必要があると感じました。

就労継続支援 B 型 (定員 20 人)

サービス管理責任者 池田隆三

【活動内容】

平成 24 年度より開始した就労移行支援事業を廃止し、平成 27 年度は、就労継続支援 B 型事業所のみ通所者 2 人を含め 20 名で営業する。

就労に必要な知識の習得及び能力の向上を図るため、事業計画に沿ってサービスを提供する。また、スポーツ大会や地域行事等の参加により、地域との交流を図り障害者への理解を深める。

パン、クッキー、干支の置物、クラッカー作業、外部作業からの収益を、毎月工賃として利用者に支払う。また、工賃と経費を差し引いた収益については年度末で算出しましたが一時金はなく、経費節減と売り上げ増加への取り組みや価格等見直しの検討が必要である。

職場実習については、市内飲食店へ男性利用者 1 名が継続して自転車で通勤する。

個別支援計画については、6 カ月見直しで実施。職場実習においては 1 週間で見直しを行い知識、職場定着、就労意識の向上等支援する。

【利用者数】	20 人 (男性 10 人名・女性 10 人)
【担当職員】	4 名 職業指導員…大野尚美、工賃達成指導員…森康子 生活支援員…二宮弘光、大森小織

【利用者支援】

- ・ 個別支援計画に基づき個々の知識及び技術向上、良好な人間関係の構築、販売等による就労意欲の向上について支援する。
- ・ 食品衛生及び感染症予防の為、就労棟、作業場の清掃消毒を毎日実施。また、感染症予防対策園内研修にも参加し食品製造前の手洗いは確認支援を続け、エプロン、帽子の洗濯や環境整備の支援を継続する。
- ・ 食品衛生管理上食品製造者全員の検便を年 3 回 (7 月、11 月、3 月) 実施する。

【実行と反省点】

- ・ 夏まつり、イルミネーション等行事にはパン、クッキー、干支の置物の販売を実施する。天候により売上数が増減するため、パンについてはロスが出ないように計画した。
- ・ クッキーについては、行事等での即売により認知度が上がり、個別に注文が入るようになった。
- ・ 干支製造販売にも取り組むがクラッカー作業(委託)のスケジュールの関係もあり、干支の置物が多く在庫になった。
- ・ 就労棟 (パン、クッキー工房、多目的室兼食堂、トイレ等) の消毒、清掃は月曜日から金曜日まで毎日行い感染予防、衛生管理に努めた。
- ・ 職場実習は(施設外支援)年間 180 日以内を目安に勤務する。インフルエンザに感染し休みを頂いたが、他は元気に通い、野菜の下ごしらえや掃除を中心に取り組む。
- ・ 平成 27 年度の売上額は増収したが、就労利用者 3 名増員のため毎月の工賃のみで、一

時金の支払いは出来ない状況である。

【販売先】

・市内小中学校や施設、各種事業所や個人商店、大洲市総合福祉センターでの毎週水曜日の販売及び納品。

【地域交流】

・各種園内行事、地域での文化祭、福祉と健康づくり市民のつどい、隣保館祭り、今坊公民館祭り、肱北公民館等での販売。

*パン、クッキーの販売には利用者も参加し、地域の方々とのコミュニケーションの場になり、労働意欲の向上に繋がった。

平成27年度 就労継続支援B型事業所売上表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
パン	195,540	198,846	278,486	289,020	240,200	292,808	294,886	253,440	251,440	204,350	255,220	274,000	3,028,236
クッキー	35,800	17,200	57,600	32,200	85,400	40,800	42,600	50,200	66,400	34,000	39,400	72,400	574,000
クラッカー	31,762	31,004	30,927	13,175	7,878	7,757	8,138	16,351	23,281		23,220	16,311	209,804
外部作業				47,614	17,772			44,400	23,086				132,872
干支								35,000	381,000	5,000		4,000	425,000
その他													0
売上金合計	263,102	247,050	367,013	382,009	351,250	341,365	345,624	399,391	745,207	243,350	317,840	366,711	4,369,912

平成26年度と平成27年度の各月の増減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
パン	3,708	6,996	47,618	90,840	68,800	60,868	1,946	54,860	28,180	24,074	38,602	74,700	501,192
クッキー	-13,200	-5,000	-5,200	-13,200	25,200	3,600	-8,600	-8,000	1,200	-13,000	-200	12,000	-24,400
クラッカー	31,762	31,004	30,927	13,175	7,878	7,757	8,138	16,351	23,281	0	23,220	-11,980	181,513
外部作業	0	0	0	42,378	17,772	-5,351	-3,908	4,920	23,086	0	0	0	78,897
干支	0	0	-4,000	-1,000	0	0	-19,000	-40,000	44,000	-55,000	-1,000	2,000	-74,000
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上金合計	22,270	33,000	69,345	132,193	119,650	66,874	-21,424	28,131	119,747	-43,926	60,622	76,720	663,202

※就労継続支援B型1名当たり年間平均工賃 76,152円(施設外支援助入含む)

短期入所事業

サービス管理責任者 祖母谷洋子

1, 実施利用状況

項目	児童	障害者	合計	前年度実績
定員	7名			
契約者	2名	16名	18名	20名
利用者延べ人数	18名	873名	891名	1053名
開所日数	366日			365日
一日平均利用者人数	0.1名	2.4名	2.5名	2.9名

- ・前年度に比べて数値が減少しているのは、他の施設に入所が決まられた状況や1月～3月にインフルエンザが蔓延しキャンセル等が出たためです。
- ・利用は男性利用者が定期的に利用されている方が多いですが、中には家族とのトラブルがあり短期入所を利用される方や保護者が急死されたため緊急で長期利用となる方もおられました。
- ・日中活動は、利用者の状況にあった活動班での参加を実施しています。

日中一時事業

サービス管理責任者 中野利子

1, 実施利用状況

項目	児童	障害者	合計	前年度実績
契約者	4名	18名	22名	16名
利用者延べ人数	116名	213名	329名	363名
開所日数	366日			365日
一日平均利用者人数	0.3名	0.6名	0.9名	1.1名

- ・男性の利用がほとんどで、1日の利用者人数も減少傾向にあります。原因としては、日中一時を利用されていた方が、短期入所のみを利用されるようになったこともあげられます。
- ・生活介護、施設入所支援の支援内容に基づいて、支援を行いました。

地域活動支援センター

指導員 中岡靖之、小林友紀、米澤昌史

1. 利用状況

項目	平成27年度			平成26年度		
定員	15人以上			15人以上		
契約数	22人	男性	11人	22人	男性	10人
		女性	11人		女性	12人
開所日数	244日			244日		
延べ利用者数	2,717人	1日当たり		3,718人	1日当たり	
		11.1人			15.2人	
延べ給食利用者数	2,832人	1日当たり		3,723人	1日当たり	
		11.6人			15.2人	
延べ送迎利用回数	4,298回	1日当たり		6,032回	1日当たり	
		17.6回			24.7回	

※8月に男性利用者が1名追加されました。

平成28年3月 1日現在

		内 訳					
年齢構成		20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	合計
		7人	10人	4人	0人	1人	22人
地域別	大洲市	6人	9人	3人	0人	1人	19人
	内子町	1人	1人	1人	0人	0人	3人
障害状況	A	7人	7人	4人	0人	1人	19人
	B	0人	3人	0人	0人	0人	3人
障害支援区分	2	0人	1人	0人	0人	0人	1人
	3	1人	4人	3人	0人	1人	9人
	4	4人	3人	1人	0人	0人	8人
	5	1人	2人	0人	0人	0人	3人
	6	1人	0人	0人	0人	0人	1人

2. 活動内容

契約書・重要項目説明書に基づき、支援を行った。

利用者支援においては、個々の解決すべき課題を把握し、利用者や保護者の意向を踏まえて基本的な生活習慣が身につくよう、また地域生活への適応性を高め、楽しく活動でき、自立した生活が送れるよう支援を行った。また、健康状態の把握を行い、早期の対応に努めた。

(1) 創作活動

- ・工芸、絵画 季節を表現した壁面作りを年7回行った。
七夕飾り（笹飾り）作りに取り組んだ。
- ・園芸 玄関にチューリップの球根植え、中庭の除草を行った。
- ・カラオケ 個々の歌いたい曲を歌ったり、リズムを取って楽しんだ。

生産活動

- ・リサイクル 空き缶（アルミ缶）リサイクルは、週2回活動に取り組み行った。
- ・竹涼音 平成27年度は、竹涼音制作依頼があり、注文を受け制作、販売を行った。

	27年度	26年度
アルミ缶生産数	358.8 kg	420.0 kg
竹涼音生産数	33個	
収益	53,800円	16,800円

空き缶リサイクル、竹涼音の収入について、一人当たり2,400円 工賃として支払う予定。

(2) 機能訓練

- ・日常生活動作 食事・排泄・歯磨き・更衣などを必要に応じて支援を行った。
- ・歩行 健康増進と肥満対策のため、個々の利用者の身体状況に応じた歩行を行った。また、雨天時には、音楽に合わせて室内歩行・ストレッチ体操を行った。
- ・家事訓練 清掃活動を通して、掃除機掛け・拭き掃除・ガラス拭きを行った。昼食時には、テーブル拭き・配膳・片付けを行った。
調理実習でみたらし団子、抹茶オーレ、丸ごと玉ねぎスープ、揚げない大学芋、ロイヤルミルクティー、ミックスバナナケーキ作りを行った。

(3) 社会適応訓練

- ・言葉や生活マナーなど 挨拶することを始め、交流の中で気持ちよく生活できるように心がけた。
食育体操を行い、食に関心を持ち、マナーや感謝することを伝え行った。
- ・社会体験 施設の行事、障害者福祉協会などの行事を通し、他の施設の利用者との交流を深めることができた。
- ・相談、援助 利用者及びその家族の方からの相談に可能な限り必要な支援に努めた。
- ・スポーツ・レクリエーション
フライングディスクやレクリエーションバレーボールなどのスポーツ、風船バレー、ボーリング、ダンスなどのレクリエーションを楽しんだ。
・遠足（伊方町観光センター）・内子町自治センター・ミニ運動会（フラワーパーク）・防災を学ぶ（防災センター）を楽しんだ。
- ・健康指導 検温、血圧測定、体重測定等を通して健康状態の把握に努め、異常が見られた場合には、保護者に連絡し対応に努めた。

(4) 給食サービス 利用者の状況に応じて、刻み食・油抜き食・マンナン食・主食の大小などを用意し、食事支援・配膳支援を行った。

(5) 送迎サービス 大洲市・内子町を送迎実施区域として、安全運転を心がけ送迎を行った。

3. 年間行事と内容

月	日	曜	行 事	場 所	内 容	参加者
4	2	木	お花見	一宮神社	弁当を食べ、お花見を楽しむ。	11人
5	20	水	レクリエーション	伊方町観光物産センター	ビクターズハウスで見学、レッドウイングパークで弁当を食べた後、散策する	16人
6	23	木	避難訓練	グラウンド	実火災（厨房）を想定して避難訓練を行う。	13人
	25	木	県レクバレー大会	大洲市総合体育館	入所利用者とバレー大会に出場する。	2人
	26	金	調理実習	日常生活訓練室	みたらし団子、抹茶オーレを作る	11人
7	7	火	歯科検診	2階会議室	参加利用者全員、歯科検診受診する。	12人
	23	木	レクリエーション	内子町自治センター	自治センターで弁当を食べた後、街並みを散策する。	9人
8	3	月	大掃除	日常生活訓練室	床掃除、窓拭き、ワックス掛けを行う。	11人
	17	月	クリーンセンター（リサイクル）	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル・販売を行う。	10人
9	1	水	シェイクアウト訓練	日常生活訓練室 グラウンド	四国に地震が発生した想定として訓練を行う。	9人
	15	火	レクリエーション	フラワーパーク	2チームに分かれて、ミニ運動会を行った。	14人
	25	金	避難訓練	グラウンド	実火災（厨房）を想定して避難訓練を行う。	10人
10	1	木	北中生・福祉体験学習	日常生活訓練室	大洲北中年生交流会（クイズ、ゲーム）	9人
	2	金	北中生・福祉体験学習	日常生活訓練室	大洲北中学生交流会（ボール投げゲーム）	11人
	13	火	平小5年生交流会	日常生活訓練室	平小5年生交流会（ペタンク ボーリング）	13人
	21	水	障害者スポーツのつどい	大洲市総合体育館	全員楽しく競技に参加している。	13人
	23	火	避難訓練	グラウンド	実火災（厨房）を想定して避難訓練を行う。	13人
11	10	火	平小5年生交流会	日常生活訓練室	平小5年生交流会（合唱、風船バレー、ピアノ演奏）	11人
	18	水	調理実習	日常生活訓練室	まるごと玉ねぎスープ 揚げない大学芋を作る。	18人
12	3	木	大掃除	日常生活訓練室	床掃除、窓拭き、ワックス掛けを行う。	12人
	17	木	シェイクアウト訓練	日常生活訓練室 グラウンド	四国に地震が発生した想定で避難訓練を行う。	11人
	18	金	避難訓練	グラウンド	土砂災害、避難勧告発令によって避難する。	13人
	25	木	クリスマス会	日常生活訓練室	ダンス、歌合戦に参加する。昼食バイキングを楽しむ。	10人
1	6	水	書初め	日常生活訓練室	自由に自分の好きな言葉や抱負を書く	12人
	28	水	避難訓練	2Fフロア	土砂災害、避難勧告発令によって避難する。	16人
2	3	火	節分 豆まき	日常生活訓練室	豆まきゲームを行う。	13人
	18	木	調理実習	日常生活訓練室	ロイヤルミルクティー ミックスバナナケーキを作る	12人
3	10	木	避難訓練	日常生活訓練室	夜間想定とした避難訓練を行う。	6人
	15	火	レクリエーション	防災センター	防災センター見学後、河川敷で散策、ふれ愛パークで弁当を食べる	12人
	24	木	クリーンセンター（リサイクル）	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル・販売を行う。	13人

相談支援事業所 大洲育成園

相談支援専門員 橋本哲志

I 障害児等療育支援事業

障害児（者）の地域での生活を支えるため、療育に関する相談・援助、各種福祉サービスの提供・調整を行いました。

【療育支援実績】

対象地域（大洲市・八幡浜市・内子町）

事業名	内容	件数
在宅支援訪問療育等事業	支援スタッフが地域や家庭に訪問し、本人や家族からの相談に応じ家庭生活におけるアドバイス・援助をしました。	5
地域支援一般指導事業	福祉事業所などに行って、在宅障害児（者）の保育・療育に関する相談を受け、必要に応じて専門機関の支援を頂きながら助言・援助を行いました。	1
合計		6

II 相談支援事業

地域で生活している当事者やその家族からの相談を受け、福祉サービスの利用援助に関する情報提供、社会資源を活用するための助言指導等、社会生活力を高めるための支援、権利擁護のために必要な援助、専門機関の紹介、関係機関や学校との連絡調整などの地域で生活していくための支援を夜間の緊急時の相談を含めて対応しました。

また、各市町の障がい者自立支援協議会の運営も行いました。

相談支援実施状況	大洲市		八幡浜市		内子町		合計	
	者	児	者	児	者	児	者	児
実人数	37	2	5		4	1	46	3
延件数	341	5	24		77	2	442	7

相談支援実施方法	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
訪問	111	16	11	138
来所	11		4	15
同行	31		7	39
電話	70	3	38	111
電子メール	4			4
個別支援会議	30		4	34
関係機関	78	5	15	98
その他	10			10
計	346	24	79	449

相談依頼者状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
本人	123	15	60	198
家族	109	1	8	118
地域住民	1			1
民生委員	1			1
医療機関	2	2	3	7
学校	3			3
市役所	29		5	34
関係機関	68	6	3	77
その他	10			10
計	346	24	79	449

相談内容状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	158	1	14	173
障害や病状の理解に関する支援				
健康・医療に関する支援	35	4	5	44
不安の解消・情緒安定に関する支援	8	3	20	31
保育・教育に関する支援			26	26
家族関係・人間関係に関する支援	33	5		33
家計・経済に関する支援	22	4		27
生活技術に関する支援	12		6	22
就労に関する支援	16		3	19
社会参加・余暇活動に関する支援			1	1
権利擁護に関する支援	38	5		43
その他	24	2	4	30
計	346	24	79	449

Ⅲ 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（計画相談支援）

大洲市から指定特定相談支援事業所者と指定障害児相談支援事業者の指定を受け、大洲市・内子町・八幡浜市・西予市に在住し福祉サービスを利用する方に対して、いわゆる計画相談を実施しました。

本人・家族の気持ちを聞かせていただき計画を作成し、利用事業所との連絡調整をはかり、モニタリングについても定期的に行いました。

サービス等利用計画を、契約者236名（者228名・児8名）に対し計画書を227件（者118件・児9件）作成し、モニタリングを92件（者88件・児4件）実施しました。

Ⅳ 大洲市障害者虐待防止対策支援事業・家庭訪問等個別支援事業

（1）内容

障害者虐待防止のため寄せられた情報を基に訪問をしていき調整を図りました。今年度は4件訪問をしました。

園内研修

研修実施日	研修内容	参加者	担当者
4月20日 (月)	新任職員研修会 防災計画・施設内防災設備について	6名	安全衛生 委員会
6月3日(水)	新任支援者に対する支援・技術に関する研修	5名	サービス 管理責任者
6月11日 (木)	新任職員研修会 原子力災害避難について	6名	安全衛生 委員会
7月13日 (月)	介護技術研修会 安全・安楽・自立支援・個人の尊厳等	27名	介護技術向上 委員会
7月17日 (金)	防災教育及び通報訓練・消火訓練	33名	安全衛生 委員会
8月17日 (月)	大洲消防署職員 大野智史氏による「AEDの使用方法・防 災教育及び通報訓練・消火訓練の実施」	24名	安全衛生 委員会
11月6日 (金)	外部講師：リフレ・サポーター排泄ケアアドバイザー寺 尾知加氏による「紙パンツに関する研修」	15名	サービス 管理責任者
11月8日 (日)	新任支援者に対する支援・技術に関する研修	2名	サービス 管理責任者
12月7日 (月)	松山地方法務局大洲支局施設訪問 「施設内虐待に係る職員への悩み事受付、解決の助言」	若干名	事務長
12月14日 (月)	介護技術研修会 移乗技術・ベッドメイキング方法等	19名	介護技術向上 委員会
2月8日(月)	養護老人ホーム「清和園」の施設見学	27名	サービス 改善委員会
2月15日 (月)	外部講師：愛媛県保健福祉部生きがい推進局障害福祉課 渡邊光一氏による「障害者虐待防止について」の講演	48名	倫理委員会
3月23日 (水)	接遇マナー 外部講師：愛媛県在宅介護研修センター 宇都宮潤氏・特定 非営利活動法人 社サラーフォー 信田基氏・ 愛媛県手話通訳問題研究会 森川美恵子氏の三人による 講演	27名	サービス改善 委員会